

自衛隊の所有する兵器



F-15(戦闘機)
現在、日本の主力戦闘機で、第4世代ジェット戦闘機に分類。40年前に設計、導入された機体だが、この先10年以上主力機として現役である。ボーイング社製



F-35(F-X次期戦闘機)
日本の航空自衛隊の次期主力戦闘機、F-35は第5世代ジェット戦闘機に分類される。日本政府は2017年3月に導入を予定(希望)している。ロッキード・マーティン社製



イージス艦(護衛艦)
ギリシャ神話のイージスの盾が名前の由来。超高性能PSYレーダー等のイージスシステムを搭載した本格的な艦隊防空能力を有する。三菱重工業社製



P-3C(対潜哨戒機)
潜水艦探知用飛行機。1969年より同機を運用し、領海侵犯してくる潜水艦を探査している。2013年度より次世代機P-1の配備が始まった。ロッキード社製



10式戦車(戦車)
世界的にも最新鋭の装備を積む戦車。デジタルリングやタッチパネルで標的を捉える事が出来、走行中でも正確に標的を狙える最新鋭の戦車。三菱重工業社製



PAC-3(防空システム)
対弾道ミサイル防衛兵器。パトリオット地対空ミサイルの最新型。弾道ミサイルの迎撃に特化した地対空誘導弾。航空自衛隊が管理している。アメリカ製



US-2(救難飛行艇)
世界に比類なき性能を持つ飛行艇。海上波高3mでも着水でき、直線距離280mで水上から離水できる。海上救難活動において力を発揮する。新明和工業社製



OH-1(観測ヘリコプター)
世界最高峰の運動性能を持つヘリコプター。観測機だが、武装することも可能。運動性能を評価し、特殊機として考えれば、他分野で活躍が可能。川崎重工業社製

日本の持つ兵器の有用性と将来像

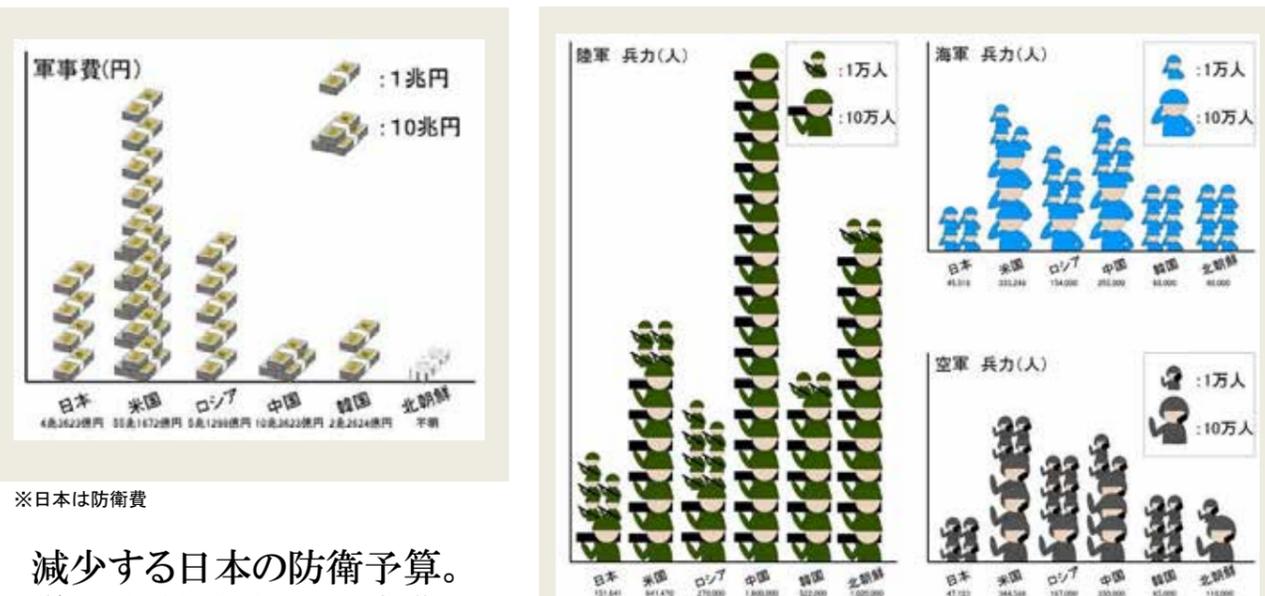
近年、近隣諸国では、4・5世代戦闘機を就役させています。自衛隊の主力戦闘機であるF-15は4世代機、戦闘機の戦闘性能が劣るのですが、2017年までは主力として現役を続行しなくてはなりません。次期戦闘機が投入されるまでの4年間は、現存戦力による国防を強いられます。ミサイル防衛能力を持つイージス艦は、海上自衛隊全体で6隻。金剛級4隻、あたご級2隻、このわずか6隻で日本の周辺海域すべてを防衛しなくてはなりません。

US-2やOH-1は、救難や観測などの平和利用可能な機材として、世界に比類なき性能を持っているにも関わらず、武器輸出三原則*によって技術輸出が制限され、生産量が少ないために必然的にコスト高になります。本来その性能を活かして世界中で活躍できる能力を持った機材ですが、武器として扱われることで輸出可能な技術的財産となっていません。

国際的には自衛隊は「軍隊」として見られているのですが、実際に日本国内では国際的な意味での「軍隊」としてのステータスが与えられていません。例外もあるのですが基本的に自衛隊が「軍隊」としての実力を発揮できる時は、「防衛出動」が発令された時。すなわち戦争の時だけです。しかし、現代においては、戦争という「有事」と平時の「平時」という区別が曖昧になり、そのグレーゾーンで問題が発生しています。例えば尖閣諸島をめぐる、中国の公船が日本の領海に侵入を繰り返しています。これは主権の侵害という国防にかかわる問題ですが、「平時」に当たり前のように行われています。この状況では自衛隊の力を発揮して最大限に抑止効果を働かせることはできません。いくら自衛隊が素晴らしい隊員と兵器を備えても、その実力を発揮させる法制度を整えなければ、宝の持ち腐れになってしまいます。このため最終的には憲法改正が不可欠です。そして攻防のバランスの取れた防衛力を整えることが重要ですが、相手は攻撃する能力を持つことは戦争を仕掛けるのではなく、戦争を避けるためにも不可欠であることを認識しなければなりません。

国際政治アナリスト 菅原出の目

日本、中国、韓国、北朝鮮、アメリカ、ロシア 戦力比較 縮小する自衛隊、拡大する周辺諸国

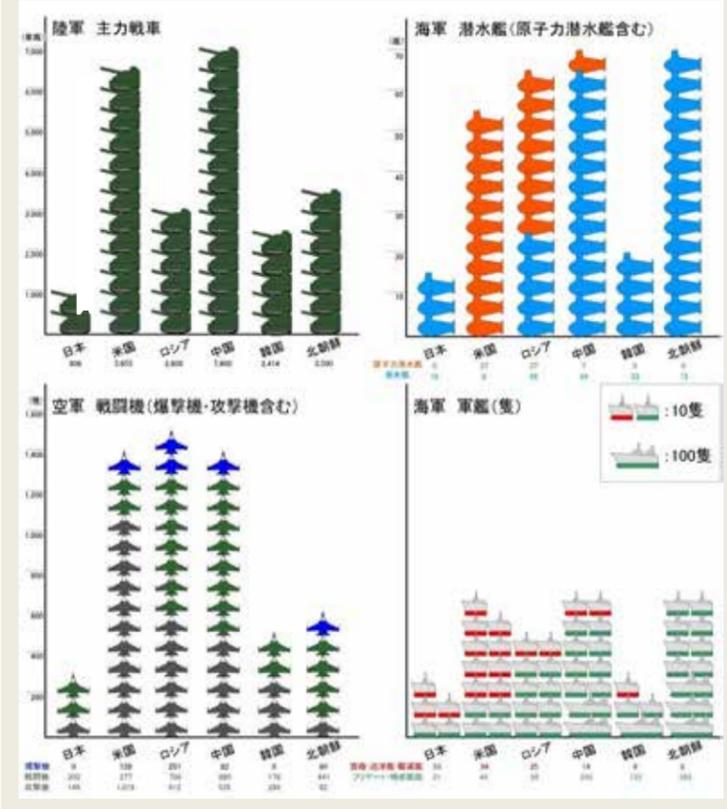


減少する日本の防衛予算。増大する周辺国の軍事費。

もしも今、戦争が起こり、アメリカの保護を受けられないとしたら、自衛隊は日本を守れるのでしょうか。数値上は互角に見える戦力図ですが、左12ページで紹介している通り、自衛隊の飛行機や艦船は装備の老朽化が進んでおり、装備の刷新が急務と考えられます。この表からも日本は軍事において韓国、アメリカ両同盟国との協調路線をとらなければ日本国を防衛できない現在の情勢が見えてきます。



一般公開される陸上自衛隊による国内最大規模の実弾射撃訓練「富士総合火力演習」実弾約44トン(約3億5000万円相当)を使い、約2万8000人の見学者に日頃の訓練の成果を披露する。



Quiz VI 「JASDF」とは何を示す略語ですが?
 1. 航空自衛隊 2. 陸上自衛隊 3. 海上自衛隊
 答えは13ページ